

私のまちの「近い遺産」～文化財の活用による地域活性化～

那須塩原市

那須塩原市役所 生涯学習課、企画政策課

背景

平成30年5月、那須塩原市、大田原市、矢板市、那須町の4市町村に点在する「那須野が原開拓の歴史」に関する31の文化財が「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」として日本遺産に認定されたものの、その認知度はいまひとつであり、十分に活用されていないという現状がある。

目的

日本遺産認定の恩恵を十分に活かしていない文化財を活用し、地域活性化に繋がる方策を提案する。

方法

日本遺産を含む観光マップ製作を提案の柱に据えた。そこで各施設設置のアンケートパネル、個別アンケート、聞き取り調査などを通じ観光客や学生の実態を、また施設へのアンケートで認定後の施設の実態を調査し、その結果を基に提案を行う。

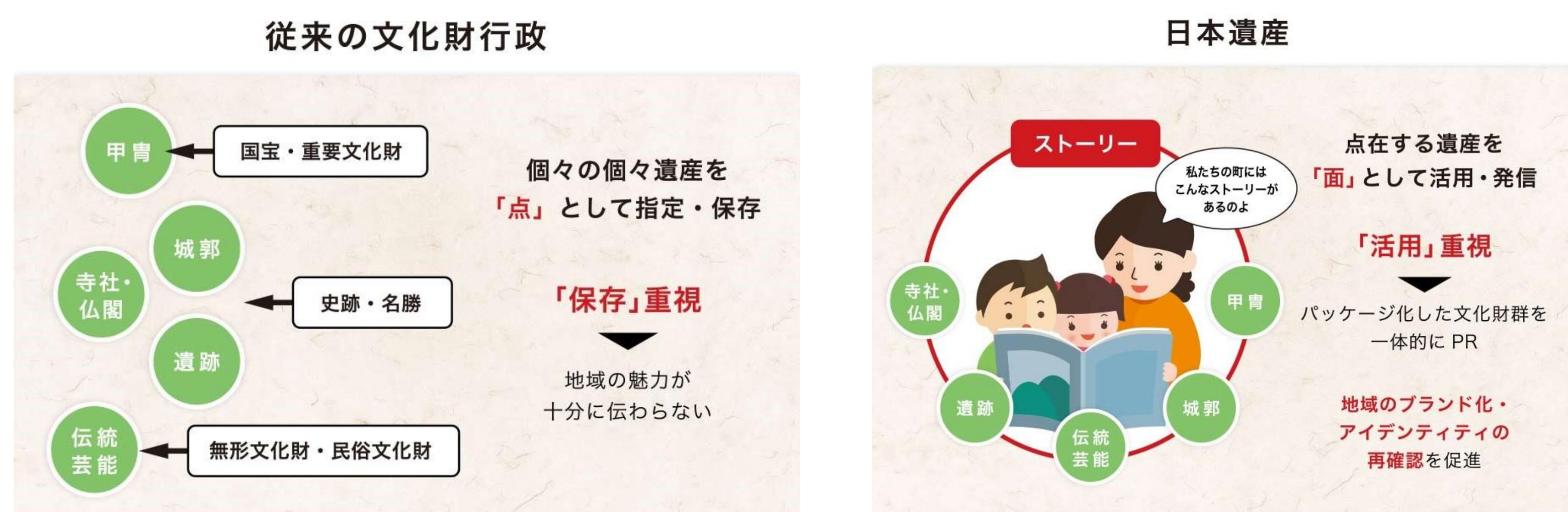


図1 日本遺産とは何か

第1 サイクル 目的・調査内容

まずは那須塩原市の日本遺産について知るためパートナーの方にお話しを伺い、また各々で事前調査をして知識をつけた。その上で実際に現地を訪問し、その魅力を体感するとともに、解決すべき課題を探った。

第1サイクルの調査を踏まえ、「日本遺産を含むサイクリングコースの提案」という方向性を得た。第2サイクルでは提案に向けたデータの収集と調査分析を行った。

【実施した調査】

(1) ターゲットを絞るための、日本遺産を訪れる人の実態（年代・構成・居住地域など）調査

- ①アンケートパネルを1か月間設置（8月）
- ②千本松牧場で来場者にヒアリング調査
- ③千本松牧場でカーナンバー調査

(2) 日本遺産や観光マップへのニーズ調査

- ①千本松牧場で来場者にヒアリング調査
- ②大学生対象に書面でのアンケート

(3) 日本遺産認定施設の実態調査

第2サイクルで実施した調査を基に、観光を楽しみながら日本遺産についての知見を得ることが期待できるドライブコースを製作。

12月10日（火）、作成したコースに沿ってドライブに出かけた。実際に巡ってみたいと気づかない魅力がたくさんあった。このドライブマップを片手に、是非一度那須に来てほしい。

調査結果・考察

大雨一過の5月21日（火）に1回目の現地調査を実施した。那須野が原開拓の歴史が学べる那須野が原博物館、そして開拓の中心施設と言える旧青木家那須別邸と那須疎水旧取水施設を訪ねた。実際に回ってみると各施設が点在していることに気づく。また、それぞれの施設に魅力があるのだが、単体で人を呼ぶのはなかなか難しいと思った。日本遺産の目的に「点ではなく面として活用」とあるように、各施設を複合的に発信していくことが大切だと実感した。

どの施設も家族と一緒に来ている割合が圧倒的に高い
→家族連れをメインターゲットに、多世代の嗜好にあったコースを複数提案するのが良いと考えた。

県内外問わず、現時点で一定の来場がある
→新規の観光客を呼び込むことと同時に、現に那須塩原市を訪れている人たちをいかに日本遺産に引き込むかということも重要

交通手段としては自家用車が最多、塩原や板室など温泉を目的として来訪する人が多い
→ドライブコースの提案へ方針転換

また、ヒアリング調査と大学生へのアンケート調査において食への関心が強い傾向が窺えたため、ドライブコースにカフェや軽食を摂れる場所を盛り込むべきだと考えた。家族連れにおいては子供が遊べる広い場所を求める親が多いことが分かった。さらに、日帰りのコースを求める声が多いことも判明した。

日本遺産に認定されたことで、どの施設も観光客の数や問い合わせの数は増加傾向にあることが分かった。また県外からの観光客やインバウンドの取り込みに力を入れたいと思っている施設が多い。



実際に現地を訪れて感じた魅力を踏まえ、3種類のコースを提案する。日本遺産だけでなく温泉や牧場といった観光地やグルメなど、実際に現地を訪れて感じた那須塩原の魅力も盛り込んでおり、肩肘張らずに観光を楽しみながら日本遺産に親しむことができるコースになっている。このドライブマップを県内の道の駅など車利用者がよく訪れる施設に設置する。すでに那須塩原を訪れている人には日本遺産にも、そうでない人にはまず那須塩原に足を運んでもらうきっかけとしたい。

今回は紙媒体のパンフレットを製作したが、どれくらい多くの人の目に触れて、どれだけの影響力があるかは未知数である。より発信力を求めるならインターネットやSNSなどのデジタル媒体の利用も検討すべきかもしれない。また、来場者が増えても日本遺産そのものに魅力がなければ今後の継続的な発展は望めない。日本遺産の意義に則り、ドライブコースで日本遺産を「面」として活用することに重点を置いたが、その前段階として、各施設それぞれの魅力向上を図っていくことも大切だろう。

提案と課題